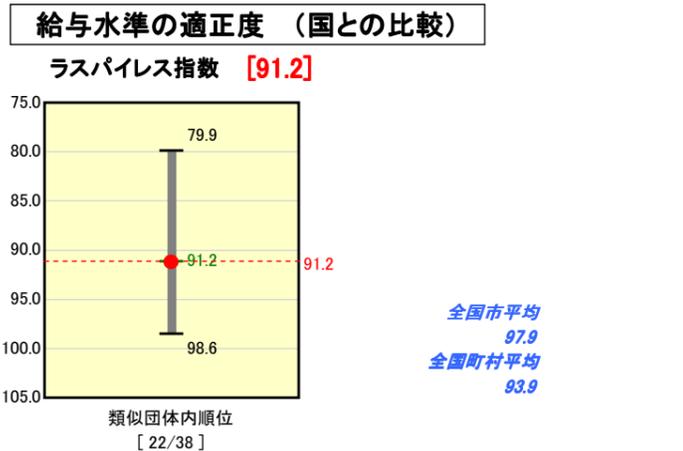
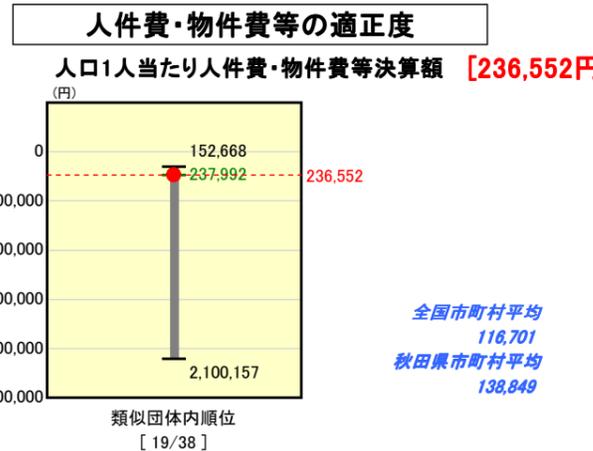
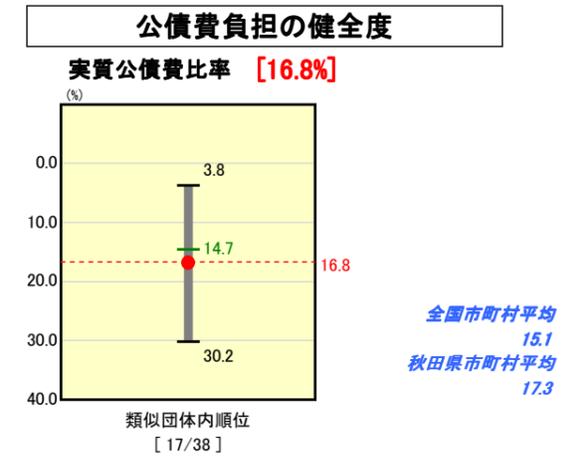
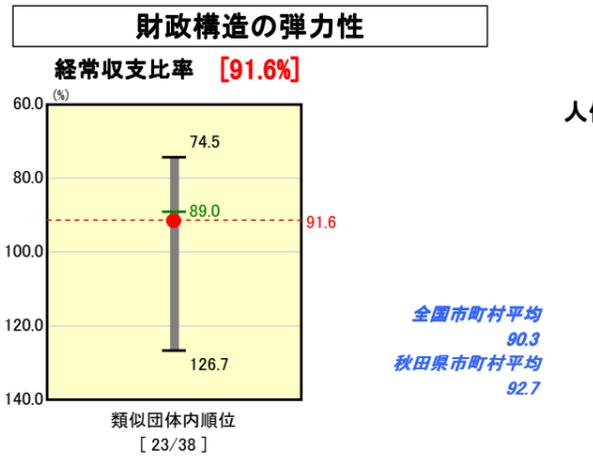
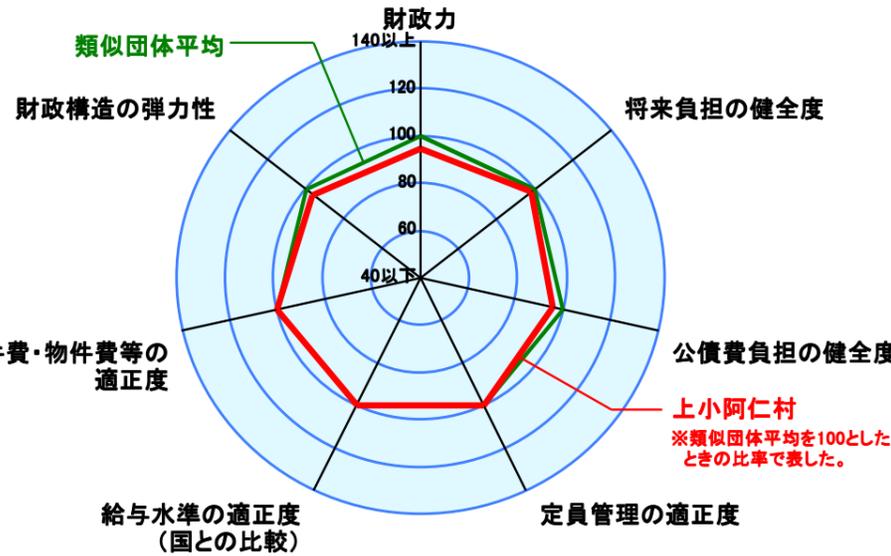
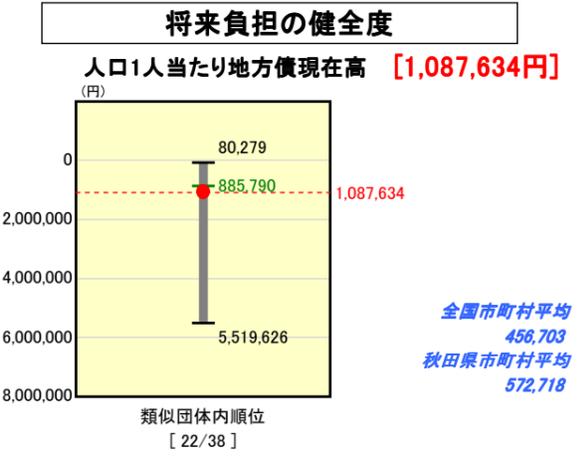
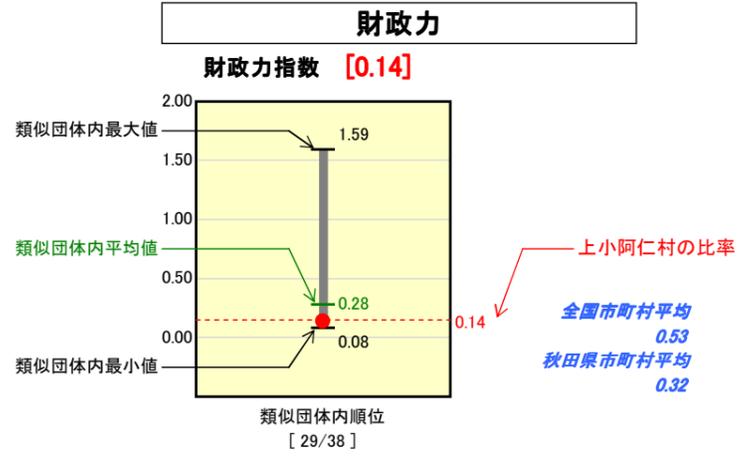


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 秋田県 上小阿仁村

人口	3,084人	(H19.3.31現在)
面積	256.82	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,594,378	千円
歳出総額	2,513,048	千円
実質収支	80,034	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

◎財政力指数: 人口の減少や秋田県内でも一番の高齢化率(20年2月末現在42.2%~住民基本台帳による)に加え、村の基幹産業である農林業の不振により、地方税が収入における決算構成比の6.9%と極めて財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。まちづくり(自立)計画で、退職職員の補充を最小限に留めることにより、当初計画時のH15年度からH25年度末までに約41%(26人)の削減目標と定めているほか、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施し、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

◎経常収支比率: H17年度決算の94.5%に対してH18年度は91.6%と2.9ポイント改善しているが、類似団体平均と比較して高くなっている。主な要因は、退職職員不補充等による人件費の41万円減や普通交付税の45万円増によるものである。今後もまちづくり(自立)計画、集中改革プランにより、職員数の削減、物件費等経常的経費の削減、また村有林の収入間伐事業により自主財源の確保に努める。

◎人口1人あたり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均と同水準となっているが、人件費の決算額において人口1,000人当たり職員数が15.56人と全国及び秋田県市町村平均と比較すると高い数値となっているため、全体の数値を押し上げている。物件費、維持補修費の削減のほか、まちづくり(自立)計画の職員削減計画に沿って行政改革を図ることにより、数値は年々改善される見込みである。

◎ラスパイレース指数: 類似団体平均と同水準となっている。特殊勤務手当の廃止と見直し、給料表の見直しにより引き続き給与水準の適正化に努める。

◎人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均、全国及び秋田県市町村平均と比較しても高水準となっている。要因は、H9年度からH10年度に借入した過疎対策事業債(生涯学習センター整備事業、借入総額11億1,490万円、H18年度末現在高4億7,248万円)による影響が大きい。当村は、簡易水道事業、下水道事業等インフラ整備が進んでいることから、今後は新規発行債の抑制や借入起債の元金償還により、年々減少していく見込みである。今後も起債事業の見直しと、高利率の借入金については借換と繰上償還及び短期間の返済を検討する。

◎実質公債費比率: H17年度決算の11.9%に対してH18年度は16.8%と4.9ポイント悪化しており、類似団体平均と比較しても高水準となっている。主な要因は、H18年度から公有林整備事業債も算定対象となったことによる。今後は、H20年度末で解散することとしている北秋田市上小阿仁村病院組合の累積赤字に対する村負担分の影響はあるが、公債費に準ずる債務負担行為や一部事務組合等の起こした地方債に充てた負担金等及び公営企業会計の起債償還に充てる繰上償還が減少していくことから、H21年度頃をピークに年々改善していく見込みである。

◎人口1,000人当たり職員数: 類似団体平均と比較してやや下回っているが、全国及び秋田県市町村平均と比較して高い水準となっている。まちづくり(自立)計画で、退職職員の補充を最小限に留めることにより、当初計画時のH15年度からH25年度末までに約41%(26人)の削減目標と定めているので、数値は年々改善される見込みである。